

## 令和4年度 第2回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）会議録

第2回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）については、第104回全国高校野球選手権佐賀大会決勝戦の試合日時（本校野球部が出場）と重なったため、中止とした。その後、第104回全国高校野球選手権大会（甲子園出場）のため、日程を変更しての開催が難しくなったことから、書面開催に代えることとした。なお、教科用図書選定検討委員会については、7月29日（金）に行った。

また、第2回の会議資料については、各委員に後日資料を持参（7月下旬～8月上旬）のうえ、個別に説明をし、書面による意見聴取を行った。その記録をもって会議録とする。

「佐賀県立学校における学校運営協議会の運営に関する要綱」第8条第2項に基づき、次のとおり、第2回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）の会議録等を公表します。

【期 日】 令和4年7月25日（月） 10：00～12：00 【中止。書面による開催】

【会議資料の内容】 以下のとおり。

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 報告事項
  - (1) 1学期の教育活動について（全日制・定時制）
    - ・ 全日制の報告 （各校務分掌主任・主事より）  
各校務分掌資料（教務、進路指導、生徒指導、保健指導部）
    - ・ 定時制の報告 （教務主任より）
    - ・ 質疑応答
  - (2) SCS 重点校における各学科の取組について（全日制）
    - ・ SCS 事業について （主幹教諭より）
    - ・ 各学科の取組 （セラミック科・デザイン科・電気科・機械科）（各科主任より）
    - ・ 各学科における地域（外部）と連携した教育課程について（主幹教諭より）
    - ・ 質疑応答
  - (3) その他（配布物）
    - ・ 「ARIKO コミュニティ・スクール通信」第2号・第3号
    - ・ 「セラミック科展」チラシ
    - ・ 「デザイン科展」チラシ
    - ・ 学校だより「勉脩7月号」
    - ・ 「有工 connect 号外」甲子園
- 5 協議・意見交換
- 6 教科用図書選定検討委員会（全日制・定時制）（教務部） ⇒ 7月29日（金）に開催
- 7 諸連絡 次回は、9月下旬から10月初旬頃に開催予定
- 8 閉 会
  - ※ 閉会后、学校施設見学（実習棟） ⇒ 中止

## 【書面開催による意見聴収】

第2回会議資料等をご覧いただき、本校の教育活動について、質問や要望、意見や感想などを記入して頂いた。また、本校に取り組んでほしいことや、一緒に活動したいことがあれば、記入して頂いた。

### (委員1)

是非、地域交流・観光の町として、「誰でもどこでもの挨拶」運動を広げていきたいと思っています。すれ違う皆が、率先して「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」の挨拶をする町にしたい。特に、生徒の皆さんが挨拶をする効果が高いと思います。観光地として栄えている町は、ほとんどが“挨拶の町”になっています。何年か前に、宮崎県の高千穂町を観光で訪れた時、すれ違う高校生、中学生、小学生の皆にとっても元気に「こんにちは」と声を掛けられたときは、こちらが恥ずかしくなるくらいの思いと、とても清々しい気持ちになりました。挨拶をし合うことは、防犯にも効果が高いと言われております。今でも、貴校の生徒さんはよく挨拶をされていますが、より一層、挨拶運動を盛り上げて頂けたらと思っています。

### (回答)

このような意見をいただいたことを生徒達にも伝えたいと思います。

### (委員2)

生徒指導部の取り組みで、新制服について、性別に関係なくパンツスタイルが選べるのがよいと思いました。伝統を残した新デザインを楽しみにしています。

保健指導部の食育講話「腸の健康学」、教育相談講話「ストレスマネジメント」について、体や心の状態を観察できることは、繊細な高校生にとってとても大切なことだと思います。食生活については、生徒本人だけでは改善が難しいこともあるので、保護者にも届くアプローチが何かできるとよいと感じました。

### (回答)

新制服については、生徒にアンケートを取り、制服検討委員会を開催して検討しています。食育については、保護者の協力も必要ですので、保健指導部にも伝えたいと思います。

### (委員2)

SCS 事業計画を拝見し、有工は学校外の外部との関わりが多くあるのが特徴であり、長所だと思いました。学校外での活動で、生徒が主体となって実践していく活動が増え、そのことを県外に向けて SNS なども活用して広くアピールできると魅力が伝わるのではないかと思います。

### (回答)

本年度は情報発信の強化を図り、学校の魅力を広く発信していけるよう努めたいと思います。

### (委員3)

本校美術の授業で、12月頃に有工デザイン科の先生(生徒も)による出前授業をしていただけたら、現1・2年生の進路意識にも好影響が出るかと思われます。せっかく近所にありますので、本校に高校生のデザイン作品や陶芸作品、機械や電気工事関連作品等を1～2週間でも展示していただくというのも連携になるかと思っています。

(回答)

第1回の会議のときに「学校が近くにありながら、本校の学科の特色が十分に中学生や中学校教員に伝わっていないのではないか」というご意見を頂きました。その後、デザイン科主任に伝え、現在、本校デザイン科の学科会議で検討しています。中高連携の授業の実現に向けて、12月に実施できるように計画したいと思います。

(委員4)

SAGA コラボレーション・スクールの事業について、興味があります。現在は「うちやま百貨店」というイベントで、デザイン科の生徒1~2名と「有工ギャラリー」としての出店という形で関わっていますが、まだ浅い関わり方の印象です。もっとお互いのことを知り、目標を共有すると、より良いことができるのではないかと思います。そういった時間が作れたらと思っています。

(回答)

内山地区で開催される「うちやま百貨店」というイベントを企画し、本校にもお声掛けをいただきありがとうございます。高校生も企画段階から加わるなどの経験ができれば、より主体的に深く活動できるのではないかと思います。学校運営協議会とは別の機会に話をする時間を作りたいと思います。

(委員4)

(地域の魅力について) 内山地区のまち歩きをしながら、地域の暮らしや移住者へ伝えていることなどをお話することは可能です。

(回答)

学校内で共有したいと思います。

(委員5)

春夏高校野球甲子園大会へのご出場おめでとうございます。ヤキモノ聖地の生徒が高校野球聖地へ行く。おおいに佐賀県立有田工業高等学校の名を全国に広げてほしいです。セラミック科展(7/24・モラージュ佐賀)へ行き、絵付け体験をしました。200円という低価格(有田町内の絵付け体験相場は1500円)で、リーズナブルだと思いました。しかし、セラミック科の生徒とは、まったく接点がなかったです。有工生と話してみたいと期待していた私にとっては、残念で悔やまれます。

(回答)

セラミック科展にお越しいただき、ありがとうございます。当日は定員を超える250名を超えるお客様に絵付けを体験していただき、親子連れ等でにぎわうことができました。3年ぶりの開催で生徒8人の補助で行き届かなかった面もありました。体験をしていただいたお客様に一言でもお声かけをしたり、展示作品の説明をしたりするなどができていなかったため、これらの反省点を博多阪急でのセラミック科展に生かしたいと思います。

(委員5)

工業基礎学力テスト(第2回資料4ページ)がどのようなものか興味関心がわきました。部外者であり、普通科出身である私のようなタイプには、工業基礎学力テスト(4ページ)がどのようなものかも、どこかで説明してほしいと思いました。

(回答)

工業基礎学力テストは、全国工業高等学校長協会主催で行われます。本校では機械科と電気科の生徒が、年1回(1~2月頃)に受験しています。機械系では機械製図、機械設計、溶接・切削・鑄造、力の作用、器具の取り扱い方など、電気系では電気の基礎、回路、電気計測、情報基礎などの基礎知識を問う問題が出題されます。55分の試験でマークシート方式で、高得点をとれば、ジュニアマイスターのポイントになります。

(委員5)

セラミック科女子生徒2人が進路未定で卒業しています(第2回資料5ページ)。なぜ進路未定なのか。どのようなフォローをしたのか(しているのか)などを説明してほしいです。

(回答)

1名は芸能界をめざし、在学中からオーディションを重ねていたため、学校が紹介する正社員の就職を希望せず、卒業後もオーディションを受け続けています。もう1名は、卒業するまでには進路未定であったが、現在は医療関係の仕事につくため、医療福祉系の専門学校に通い、資格取得をめざしています。

(委員5)

第1回会議を振り返って、全日制に対する学校運営協議会であるにもかかわらず(初めに会議の説明を受けて解釈・私が誤解している可能性あり)、定時制の審議を学校運営協議会ですることは、権限を超えている(存在を超えている)と感じました。学校運営協議会が全日制だけを対象にしているのか、全日制と定時制の両方を対象にしているか、再説明していただけましたら幸いです。

(回答)

第1回の会議で説明をしておりますが、本校は全日制と定時制があるため、学校運営協議会と学校魅力強化委員会の解釈がわかりづらい点があったのではないかと思います。本校は今年度から「コミュニティ・スクール」となったことで、これまでの学校評議員制度を学校運営協議会制度に代えていますので、学校運営協議会では、全日制と定時制の教育活動を取り扱い、ご意見を頂くこととなります。佐賀県が指定する「SAGA コラボレーション・スクール」指定校は全日制が対象で、指定校には学校魅力強化委員会を設置するようになっていることから、学校魅力強化委員会では全日制の教育活動を取り扱い、ご意見を頂くこととなります。

委員の皆様につきましては、学校運営協議会の委員と学校魅力強化委員会の委員を兼ねていただいております。各回の学校運営協議会(学校魅力強化委員会)では、全日制・定時制に関する教育活動について協議する場合は学校運営協議会とし、会議の一部で「SAGA コラボレーション・スクール」事業に関する事を協議する場合は、学校魅力強化委員会として開催させていただいております。

(委員5)

各学科の工場見学について、これまで受け入れ可能であった企業でも、コロナの影響で受け入れができなくなるなど、受け入れ先の企業を探すのに苦労していると聞いています。電気科の生徒に向けて、香蘭社の碍子(がいし)工場を見学してはどうでしょうか?碍子(がいし)とは、電線とその支持物とのあいだを絶縁するために用いる器具です。電気科とセラミック科をつなぐ教材とし

て、碍子（がいし）工場の見学を提案します。

(回答)

工業科の学科主任に共有したいと思います。情報提供いただき、有り難うございました。

(委員 6)

資料 5 ページの進路状況につきまして、佐賀県内への就職者が多いと感じました。これも有工の先生方の熱心なご指導のおかげであり、心より感謝申し上げます。有田町も佐賀県庁と連携して、魅力ある企業の工場やサテライトオフィス等を、佐賀県内に誘致できるように取り組んでいます。有工から佐賀県内への就職を希望される生徒さんが、なお一層増加されることを願っております。

(回答)

このようなご意見をいただいたことを、進路指導部を中心に伝えたいと思います。

(委員 7)

資料を見て、朝の読書というのが面白かったですが、何年続けられているのでしょうか？生徒は、長期欠席者が意外と少ないと感じました。進路に関してですが、就職希望の産業別で窯業が分かれていないのが残念でもありました。頑張らなければと思いました。

いじめについて、いじめを認める勇氣。辛いでしょうが、私はその姿勢を支持致します。それから、生徒の町中マナーは概ね良好だと思います。工業高校として、有田の様々な会社との交流が進んで行ければと思います。それには、校外にも私達らも協力して発信していきたいです。

(回答)

朝読書は平成 10 年度から続いています。子供たちが安心・安全な充実した学校生活を送れるよう、教職員も一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

(委員 9)

各学科における地域と連携した取り組みを、各学科とも同じ様式で分類しながらまとめているので、わかりやすい。

甲子園出場のこともあり、全国的にも魅力ある高校として認知されているのではないのでしょうか。また、それを地域が支え応援する体制も強固であると感じます。

さらに地域と関わるイベントとしては、実習や演習を見学できるオープンデーをつくるのはどうでしょうか？また、中学生に体験部活をしてもらうなど、学校紹介の場を増やすことも良いかもしれません。

インパクトのある取り組みとしては、メタバース上で有田工を再現し、アバターにより学校紹介を行う等ができるかもしれません。各学科の特色を 3DCG や動画で紹介し、来訪者とコミュニケーションをとることもできます。佐賀大学では 2020 年にコロナ禍でオープンキャンパスが中止になり、急遽バーチャルオープンキャンパスを作成しました。1 日で 2000 人ほどが参加してもらいました。ワールドはまだ残っています。<https://cluster.mu/u/sadaisanpo>

(回答)

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。各学科主任とも情報共有をしたいと思います。

(委員 10)

地域の高齢者のなかには、電球が切れた時の付け替えに困っているという話をよく聞きます。電球の型名も小さな字でわかりにくくて見にくくて、高いところは椅子や脚立に乗らないと届かないので危ない状況です。一人暮らしの高齢者は本当に困っています。最近では LED の明るいものもあるので、そういうものに換えたらいいと思うけど知らない人もいます。有工高の電気科の生徒さんが、電球の付け替えのボランティアなどをしてくれると、高齢者の方に本当に喜ばれると思います。

(回答)

地域の実情についてお伝えいただき、ありがとうございます。電気科の主任と情報共有をしたいと思っています。

(委員 10)

有田工業高校に来るときに、間違っ有田キャンパスのほうに入ってしまう方もいます。入り口をもう少しわかりやすいほうに表示できないでしょうか？

(回答)

ご意見をいただき、ありがとうございます。事務室に伝えたいと思います。

(委員 10)

学科ごとに関連のある企業に人に来てもらって、生徒の実習現場を見てもらったり、生徒たちとの意見交換をしたりすると、将来の就職にもつながるのではないのでしょうか。町内外の企業向けの PR になると思います。

毎年行われている 30km マラソンは波佐見のほうに行ってしまうので、是非、有田の伝建地区を入れてもらいたいです。野球部も春夏連続甲子園に出場して注目されているので、町中を走れば、町民はその姿を見に外へ出て声援を送ること間違いなし、生徒さんにも伝建の町並みを見てほしいです。先日、町長さんにも話したら、いいねと言っておられました。道路使用の問題もあるかもしれませんが、是非検討をお願いします。

あと、料理と器をどう調和させれば、より美味しそうに見えるかを試すことを一緒にやってみたいと思っています。

(回答)

ご意見ありがとうございます。マラソン大会については、体育科や生徒会にも伝えたいと思います。地域活性化等に資する社会的な意義があり、地域住民や道路利用者等の合意に基づいて行われるイベント等については、道路使用許可手続きが円滑に行われるよう配慮した運用が実施されているようですが、道路使用が可能なのかも含めて検討が必要になるかと思います。

料理と器の件については、家庭科の教員に伝えました。

(委員 11)

先日の第 1 回学校運営協議会はたくさんの意見や提案が出て、有意義な会議でした。私は同窓会からの代表として参加させてもらいましたが、これまで卒業してしまうと学校とは疎遠になっていたと感じていました。たくさんの同窓生の中には、各界で活躍されている方も大勢いらっしゃると思いますが、なかなか生徒たちとは接点がないと思います。地元に住居の諸先輩方や卒業生との接点をなるべく多く持てれば、地域との接点の一つにも成りえると思います。我々、同窓会も積極的に、学校や

生徒たちとの関わりを持ちたいと思います。

(回答)

ありがとうございます。また、甲子園出場に際しましては、同窓会の皆様に多大なご支援をいただき、感謝しております。今後、卒業生等による講話や、同窓会や地元企業との接点を持っていくような教育活動について検討していきたいと思います。

(委員 1 2)

野球部の甲子園大会おめでとうございます。春の大会に続いての夏の大会出場は選手にとって自信につながったと思いますし、またこの地域にとっては久々のビッグな話題となりました。残念ながら初戦敗退という結果に終わりましたが、地域の皆さんにとっては選手たちの深瀬としたプレーに勇気と感動を頂いたと思っています。本当にありがとうございます。そしてお疲れ様でした。

学校運営に関してですが、先日、私のところにセラミック科展の案内が届きました。7月24日がモラージュ佐賀、8月27日と28日が博多阪急でろくろ体験と絵付け体験を子供たちに体験してもらおうという企画だと思います。生徒たちが主体となって取り組むというこの催しは大変素晴らしいことで、有田焼の知名度向上や有田観光にとって大変有意義なものと感じています。生徒たちにとっても自分たちが習ったものを子供たちに教えるという社会経験として価値あるものと思います。

(回答)

生徒の積極的な活動が学校及び町の活性化につながるよう、有田町内にただ1つある高校として「地域を愛し地域に愛される学校づくり」に取り組んでいきます。

(委員 1 2)

コロナの影響で、工場見学を受け入れる企業が減り、受け入れ先を探すのに苦労していると聞いています。弊社（香蘭社）でよければ弊社総務部へお問い合わせください。

(委員 7)

工場見学であれば、幸楽窯も受け入れ可能です。

(回答)

ご協力いただき、ありがとうございます。工業科の主任と情報共有をしたいと思います。

(委員 1 3)

セラミック科展がモラージュ佐賀と博多阪急で開催されることは、生徒にとっても地域の方々にとっても刺激になり、また有工のPRにもなると思いました。町内で有工生に会うと、必ず挨拶をしてくれて、心が温かくなります。各学科の生徒さんとの懇談会および生徒会との活動の開催などができればと思います。

(回答)

PTA 本部役員会などで、生徒との意見交換会などの要望が出た場合はご相談下さい。

以上、書面による意見聴取を行ったところ、多くのご意見を頂きました。

【学校運営協議会委員】（敬称略：五十音順）

- 岩井 章（有田観光協会 専務理事）
- 岩楯愛久美（本校デザイン科卒業生）
- 小嶋 貴之（有田町立有田中学校 校長）
- 佐々木元康（特定非営利活動法人 灯す屋 代表理事）
- 竹田 英司（長崎県立大学 地域創造学部実践経済学科 准教授）
- 土井 輝（有田町まちづくり課 副課長）
- 徳永 隆信（徳永陶磁器株式会社（幸楽窯）代表取締役、有田ロータリークラブ会員）
- 中野 星次（佐賀新聞社メディア局次長兼コンテンツ部長）
- 中村 隆敏（佐賀大学 芸術地域デザイン学部 教授）
- 西山美穂子（キッキングランマ 代表）
- 原田 好和（（有）アトラス 代表取締役、同窓会副会長）
- 深川 祐次（株式会社香蘭社 代表取締役社長、有田町商工会議所 会頭）
- 安元 孝史（全日制 PTA 会長）
- 山崎 哲也（佐賀県立有田工業高等学校 校長）

【事務局】

- 馬場 光弘（全日制 教頭）
- 吉田 芳克（定時制 教頭）
- 橋本 剛（事務長）
- 中西 美香（主幹教諭、SCS 担当主任）
- 原 慎一（教務主任（全日制））
- 野田 和弘（教務主任（定時制））
- 池上千代香（進路指導主事（全日制））
- 澤山 大亮（セラミック科主任（全日制））
- 森永 昌樹（デザイン科主任（全日制））
- 吉武 吉隆（機械科主任（全日制））
- 山田 成仙（電気科主任（全日制））
- 吉永 伸裕（地域みらい留学担当）
- 馬場 美帆（事務担当）

※ 学校運営協議会については、全日制・定時制合同での設置とする。

そのため、全日制および定時制の教育活動について取り扱い、協議・報告をする。

※ SAGA コラボレーション・スクール（SCS）重点校指定については、全日制が対象となっている。

そのため、SCS 事業に関する内容を取り扱う場合は全日制の取組を対象とし、学校運営協議会の会議の一部を学校魅力強化委員会に置き換えて、協議・報告するものとする。